



星の子だより

第 25 号 2017 年 6 月発行
東北大学病院病後児保育室
星の子ルーム



星の子ルームは平成 13 年に国内の大学で初めて設置された病後児保育施設で、病気の回復期で登園・登校できないお子さんの看護・保育を、専属の看護師 2 名、保育士 2 名で行っております。スタッフは全国病児保育研究大会に参加するなど、より良い保育を提供できるよう研鑽を積んでいます。また、利用方法などにおける問題点については、毎月実務者委員会で検討を行っており、昨年度はかかりつけ医連絡票の内容などについて変更を行い、お子さんの安全により配慮したものになったと考えております。私自身もこれまで星の子ルームを度々利用しておりますが、体調が万全ではない子供たちがゆったりと一日を過ごすことができ、子育てと仕事を両立していく中でとても心強い存在です。皆様も、お子様の体調が悪いときには、安心してご来室ください。また、お近くにまだご利用されたことのない方がいらっしゃいましたら、是非星の子ルームをお勧めいただきたいと思います。今後とも星の子ルームの運営にご理解、ご協力いただけますよう、よろしくお願い致します。

東北大学病院病後児保育室実務者委員
上村 美季(小児科)

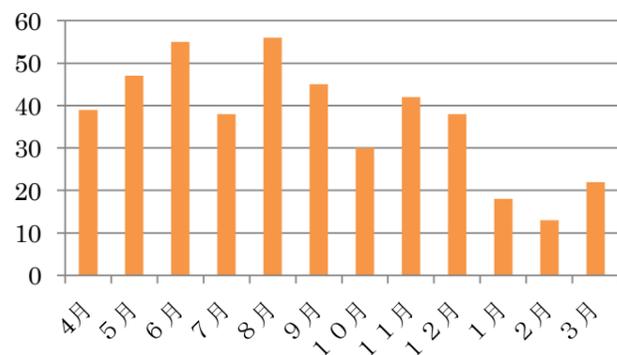


昨年度の利用状況

平成 28 年度の星の子ルームの利用状況をお知らせいたします。1 年間の利用人数は 443 人で 1 日平均 1.82 人となりました。月ごとの利用数をグラフ 1 に示しました。年齢別でみると 1~2 歳児の利用が約半数でした(グラフ 2)。この頃は保育園に通い始める時期で、感染症に罹患しやすいためでしょう。病気になるのは心配ですが、免疫力がついてだんだん丈夫な体になっていきますので、早めに対処してうまく乗り越えていきましょう。

1 年を通してキャンセル待ちが出た日は 3 日間だけで、ほとんどの日が受け入れに余裕がありました。お子さんの体調が悪い時、病気の回復期でゆったり過ごさせたい時など、まずご連絡ください。

(人) 利用延べ人数 (グラフ 1)



年齢別割合(グラフ 2)



星の子ルームってどんなところ?

星の子ルームは東北大学病院の外来棟 5 階に設置されており、東北大学の教職員、学生のお子様(生後 6 ヶ月から小学 3 年生)が対象となっています。病気の回復期で登園、登校ができない時に安心して預けることができる環境づくりを心掛け、看護・保育をしております。初めての利用を考えている方に写真で簡単にご紹介します。



星の子ルームのお部屋です



室内にある子ども用トイレです



幼児食の一例です



日中は一人一人の体調に合わせて、ゆったりと過ごします。



昼食は、病院内食堂に注文し、体調や月齢に合わせた食事を提供しています。



初めてのご利用

事前登録は必要ありません。電話でご予約の上、利用当日に「登録票」「利用申込書」「こどもカルテ」「かかりつけ医連絡票」をご持参ください。病状などを詳しくお尋ねしますので、時間に余裕を持っておこしください。

書類入手方法

利用案内及び必要書類は星の子ルームの HP、教職員グループウェアからダウンロードできます。また星陵地区では医学部 1 号館、3 号館の教室員会掲示板、看護師更衣室前に置いています。

防犯について

防犯対策のため保育室の入口を施錠しています。御用の方はドアチャイムを押してください。ご協力お願いいたします。

利用書類について

利用案内とかかりつけ医連絡票の内容に一部変更があります。ご利用前に HP 又は電話でご確認ください。

◎予約・問い合わせ 022(717)7819

◎メールアドレス hoshinoko@grp.tohoku.ac.jp

◎ホームページ <http://tumug.tohoku.ac.jp/support/hoshinoko/>